

2023 年度

事業計画書

収支予算書

(一社) 日本クレー射撃協会

\* 2022 年度第 9 回理事会 (2023 年 3 月 30 日) 承認

# 2023 年度（令和 5 年度）事業計画書

自：2023 年（令和 5 年）4 月 1 日

至：2024 年（令和 6 年）3 月 31 日

## **[事業方針]**

本年度はアジア競技大会（CHN）や世界選手権大会（AZE）、アジア大陸選手権大会（KOR）など 2024 パリ五輪出場枠（QP）が付与される重要な競技会を控えており、代表選手の選考にあたり選手選考委員会を設置し、選考基準・予選実施方法を決定した。今後、厳正なる選手選考を行った上で選手強化事業を実施、パリ五輪 QP 獲得に傾注したい。

国内においては、普及・振興と競技力向上を目的として本部公式大会の開催回数を計 8 回（ブロック本部公式 4 回・春季本部 2 回、夏季本部 2 回）へ増やした他、全国クレ射撃フェスティバル大会（福岡）を予定しており、国体隔年開催の狭間でクレ射撃競技の普及・振興と選手の競技力向上に努める。

また、日本スポーツ協会（JSPO）における加盟団体審査要項の改正に伴い、当協会の公益法人への移行について、去る 2022 年 10 月 17 日、内閣府公益認定等委員会へ移行申請を行い、現在、審査過程にある。当年度内に同委員会より法人移行認可が下りると思われるが、認可後は粛々と移行手続きを進めていきたい。

更に、昨年度理事会において協会関係者におけるガバナンス（統治）・コンプライアンス（法令遵守）・インテグリティ（高潔性）の徹底について申し合わされ、特に「選手選考」については公明正大に手続きを進めていくことが決定された。今年度は上部団体におけるガバナンス・コードの評価査定が予定されていることもあり、スポーツ庁や上部団体が推し進めるガバナンス・コードの遵守・徹底に理事会一丸となり尽力していく所存である。

事業の詳細については後述の通り。

## I. 事業内容

本会定款第5条に記載された7項目に基づき、各項目について記載の諸事業を実施する。

### (1) クレー射撃の普及及び指導

#### 1. 広報事業（機関誌・ホームページ・SNSの活用、その他各種取材への対応）

##### ◆担当：事務局広報室

##### (1) 機関誌「ザ・シューターズ」発行

JSC助成事業として実施し、年間4回発行予定。掲載記事の更なる充実を図っていく。

##### (2) ホームページ運営

利用者の利便性向上を目的として、機関誌同様、従来よりも充実した情報発信に傾注。

##### (3) SNS活用

所属会員が協会からの発信情報を得やすいよう、利便性の向上に努める。

##### (4) メディア活用（YouTube、テレビ番組等）

若い世代にクレー射撃競技を啓蒙するため、YouTube動画の作成・配信に傾注する。また、競技のイメージアップを図るため、「炎の体育会TV」等ファミリー層の視聴者が多い番組への露出を図る。

#### 2. 加盟団体支援事業

##### ◆担当：事務局

(1) ランニング・ターゲット部会、芸能文化人ガンクラブ、パラ・クレー部会の各部会へ助成金を交付する。

(2) 昨年度に引き続き、組織基盤が脆弱な沖縄県クレー射撃協会について、理事会承認を経て同協会の支援を行う。

#### 3. 各種推薦業務の実施

##### ◆担当：事務局

例年同様、ライフル銃所持推薦、散弾銃未成年所持推薦、技能講習免除推薦などの業

務を実施する。

#### 4. 国民体育大会

##### ◆担当：競技委員会、審査委員会

(1) 第2回全国クレール射撃フェスティバル大会（福岡）の実施。

◇会 期：2023年9月23日（土）～24日（日）

◇会 場：福岡県立総合射撃場

(2) 後催国体の開催準備

今後の予定は次の通り。

2023年度（令和5年度）鹿児島国体（記念）	×
2024年度（令和6年度）第78回佐賀国体	○
2025年度（令和7年度）第79回滋賀国体	×
2026年度（令和8年度）第80回青森国体	○ 女子選手編成
2027年度（令和9年度）第81回宮崎国体	×

#### 5. シミュレーター・クレールの展開

##### ◆担当：総務委員会

一般者へのPR活動に資するため、各種スポーツ・イベントなど利用希望のある地方行政や地方協会等へ貸与を行なう。

#### 6. ドーピング検査事業の実施（\*JSC事業）

##### ◆担当：医科学室

- (1) 日本アンチドーピング機構（JADA）並びに日本スポーツフェアネス推進機構（J-フェアネス）と連携し、全日本選手権大会においてドーピング検査事業を行い、参加選手や協会関係者のアンチドーピング意識の啓蒙を図る。
- (2) 公認コーチ指導員講習会や強化合宿時の座学において、アンチドーピングに関する講義を行い、アンチドーピングに関する正しい知識・認識の習得に資することとする。
- (3) 受動喫煙に関して、各合宿時やコーチ講習会において徹底した指導を行っていく。

## 7. ガバナンスコード

### ◆担当：コンプライアンス室、事務局

2019年度より実施された競技団体ガバナンス・コードに基づき、各項目の遵守に向けて対応する。なお、2023年度は上部団体の評価審査が行われる。

## (2) クレー射撃の全日本選手権大会及びその他の競技会の開催

### 1. 公式大会開催事業（ブロック別本部公式大会、本部公式大会、全日本選手権大会、地方公式大会、ランニング・ターゲット公式大会等の開催）

#### ◆担当：競技委員会、審査委員会

##### ☆春季本部公式大会①

2023年04月22日（土）～23日（日）：ニッコー栃木総合射撃場

##### ☆春季本部公式大会②

2023年05月13日（土）～14日（日）：愛知県総合射撃場

##### ☆夏季本部公式大会①

2023年06月03日（土）～04日（日）：福岡県立総合射撃場

##### ☆夏季本部公式大会②

2023年06月17日（土）～18日（日）：成田射撃場

##### ☆ブロック本部公式大会①

2023年07月01日（土）～02日（日）：那須国際射撃場

##### ☆ブロック本部公式大会②

2023年07月16日（日）～17日（月・祝）：宮城県クレー射撃場

##### ☆ブロック本部公式大会③

2023年08月05日（土）～06日（日）：長野県営総合射撃場

##### ☆JOC ジュニアカップ大会

2023年08月19日（土）～20日（日）：神奈川県立伊勢原射撃場

##### ☆ブロック本部公式大会④

2023年09月02日（土）～03日（日）：岡山県クレー射撃場

##### ☆第2回全国クレー射撃フェスティバル大会

2023年09月23日（土・祝）～24日（日）：福岡県立総合射撃場

☆全日本選手権大会（女子含む）

2023年10月19日（木）～22日（日）：神奈川県立伊勢原射撃場

☆第5回ビギナーズ・マッチ大会及び第6回グランド・マスター大会

2022年11月03日（金）～05日（日）：神奈川県立伊勢原射撃場

## 2. 地方公式大会

◆担当：競技委員会、審査委員会

☆その他 地方公式大会：242大会開催、RT大会：8大会開催

（\*RT：ランニング・ターゲット）

## 3. ランキングシステム

◆競技委員会

ISSF ランキングを模範とした全日本ランキング、従来のランキングを併行して運用する。

### (3) クレー射撃に関する指導者及び審判員の養成並びにその資格の認定

#### 1. ブロック講習会開催による審判員等の養成

◆担当：審査委員会

各ブロックにおける審判員講習会を実施し、1級審判員、2級審判員、公認射撃場指導員の養成を行う。

また、地方協会の審判員スキル向上のため、1級・2級審判員更新者についてもブロック講習会の受講を義務付ける他、ISSF 有資格審判員と国内審判員のステップアップを基本とした育成計画を検討する。

\*ISSF：国際射撃スポーツ連盟

#### 2. 国際審判員の養成（\*JOC 事業）

◆担当：競技委員会、審査委員会

各ブロック・地方協会の審判員レベル向上と国際ルールの解釈を深めるために、ISSF 国際審判員養成講習会を実施する。

\*開催日・場所についてはISSFと調整中。

### 3. 公認コーチ養成講習会

#### ◆担当：強化委員会

JSPO 公認による標記講習会を実施し、地方協会における指導者・コーチの養成に努める。なお、今年度よりコーチ 1 のカリキュラム組み直しを行う他、コーチ 3 のカリキュラムを今年度内に作成し、JSPO へ認定申請を行う。

☆会 期：\*調整中（11月～翌年2月頃で検討）

☆会 場：\*1箇所にて実施

## (4) クレー射撃に関する施設・用具等及び段級位の検定及び認定

### 1. 装弾、クレー標的、射撃場、放出機、スコアボードの検定・公認

#### ◆担当：審査委員会

検定委員会規定・基準に則り、各種の検定会や諸手続きを行う。

前年度末に行う予定であった装弾・クレー標的に関する検定会が順延し、今年度初旬に実施する。

### 2. 関連団体への指導や要望、情報交換

#### ◆担当：審査委員会、総務担当理事、事務局

業界関係団体との各種懇談会等を利用し、統括団体としての指導や要望、情報や意見の交換をそれぞれ行う。

### 3. 段級位審査事業（段級位審査会の実施）

#### ◆担当：審査委員会

例年通り、各本部公式大会・地方公式大会における段級位審査会を実施する。

### 4. 公認射撃場検定基準に基づく射撃場ランク付け

#### ◆担当：審査委員会

公認射撃場検定基準に基づき、公認射撃場の評価判定及び更新手続きを行う。

## (5) クレー射撃の競技力向上に関する事業

### 1. JOC 事業・JSC 事業の実施

#### ◆担当：強化委員会

JOC の選手強化 NF 事業や JSC 助成事業として、次の事業を実施する。

#### ☆JOC 事業

- ◇選手強化活動事業：国内合宿
- ◇コーチ力強化事業：コーチ派遣
- ◇次世代アスリート育成強化事業：チーム派遣、海外合宿
- ◇強化活動の DX 化促進支援事業

#### ☆タレント発掘事業（JSC）

#### ◇国内強化合宿事業（学生育成）

toto くじ助成を活用し、18 歳からの若手選手の発掘及びユニバーシアード大会等国際大会を目指す選手の育成

### 2. 競技別強化拠点及び JISS との連携

#### ◆担当：強化委員会

スポーツ庁より指定された競技別強化拠点（神奈川県立伊勢原射撃場）を有効利用し、且つ、国立スポーツ科学センター（JISS）との連携を図り、昨年度に引き続きクレー射撃の科学的分析を行い、日本選手の競技力向上・技術分析に資する。

## (6) クレー射撃スポーツの普及・発展に資するための補完事業として事業運営上必要な物品の販売

#### ◆担当：事務局

協会グッズの作成・販売を行い、クレー射撃競技の普及・振興に資すると共に、財源確保に努める。



## (7) その他、目的を達成するために必要な事業

### 1. マーケティング活動

#### ◆担当：事務局（マーケティング室）

パートナーシップ規定を改定し、企業等へのアプローチを行う他、JOC との契約に基づくジョイントマーケティングを推進する。

### 2. JSPO、JOC、JADA、J-フェアネスとの連携

#### ◆担当：強化委員会、事務局

上部団体等主催の各種研修会や諸会議へ参加し、情報や意見交換に努める。

### 3. ISSF、アジア射撃連合、アジアクレール射撃連盟、FITASC との連携

#### ◆担当：強化委員会、競技委員会、事務局

ISSF 等の上部団体主催の各種研修会や諸会議へ参加し、情報や意見交換に努めると共に、COMPAK 日本導入に向けて警察庁との折衝を引き続き行う。

### 4. スポーツ庁、内閣府からの指導

#### ◆担当：総務担当理事、事務局

関係省庁主催の各種研修会や諸会議に出席し情報や意見交換に努めると共に、スポーツ庁や内閣府の指導に基づく諸手続を進める。

また、JSPO 加盟団体規定の改正に伴い、公益社団法人への移行手続を進め、令和 5 年度内の法人移行を目指す。

### 5. 個人や団体の資格審査

#### ◆担当：総務担当理事、事務局

定款や定款の施行についての細則、入会・退会規定に基づく資格審査業務を行う。

### 6. 会計・総務・庶務

#### ◆担当：総務担当理事、事務局

各委員会の統括、加盟地方協会・部会への連絡業務、会計・事務局の管理等を例年通

り実施する。

また、専門委員会活動の活発化と（本部－ブロッカー－地方協会）間の意思疎通や連携強化を図る。

## 7. 奨励金事業

### ◆担当：競技委員会

奨励金規定に則り、優秀選手・チームへそれぞれ奨励金を配布する。

## 8. 各種表彰

### ◆担当：総務担当理事、事務局

表彰規定に基づき、本部・地方協会関係者を推薦・表彰する。

以 上

\*2022年度第9回理事会 承認（2023年3月30日）

2023年度予算(案)

単位:円

区分	事業・内容	(今年度) 2022年度収支予算				(来年度) 2023年度収支予算			
		収入	支出	収支差額	備考	収入	支出	収支差額	備考
競技	本部公式関係(団体含む)	27,610,000	32,010,000	-4,400,000	フェスティバル開催	33,350,000	36,350,000	-3,000,000	フェスティバル開催
	公認料他	10,500,000	350,000	10,150,000	210大会試算 *申請238大会	11,750,000	350,000	11,400,000	235大会試算 *申請242大会
	奨励金	8,400,000	800,000	7,600,000	210大会試算	8,200,000	800,000	7,400,000	235大会試算
	登録料	8,400,000		8,400,000	210大会試算	8,200,000		8,200,000	235大会試算
	共有経費(機材・保険・委員会費含む)		2,100,000	-2,100,000			2,000,000	-2,000,000	
	計(A)	54,910,000	35,260,000	19,650,000		61,500,000	39,500,000	22,000,000	
審査	段級位	1,027,000	100,000	927,000	前年度実績	1,000,000	60,000	940,000	
	国内審判員(継続・新規)	1,034,000	140,000	894,000	更新者×80%	1,200,000	170,000	1,030,000	
	ブロック講習会			0		400,000	100,000	300,000	
	推薦業務			0		400,000		400,000	
	ISSF・レフェリー講習会	3,023,000	4,085,000	-1,062,000	JOC事業	2,000,000	2,500,000	-500,000	JOC補助事業
	ISSFライセンス更新			0		40,000	40,000	0	
	JSCO公認コーチ講習会	2,400,000	1,360,000	1,040,000	収入:60万円・支出:34万円×4回	500,000	720,000	-220,000	
	検定・装弾	12,750,000	150,000	12,600,000	工業会+4社	10,750,000		10,750,000	工業会+4社
	検定・クレール構的	4,100,000	150,000	3,950,000	組合+2社	4,100,000		4,100,000	組合+2社
	検定・射撃場等	670,000	40,000	630,000	更新予定射撃場	1,400,000	200,000	1,200,000	
		計(B)	25,004,000	6,025,000	18,979,000				
総務①	広報事業①	950,000	2,670,000	-1,720,000	190大会/HP・ネーミング・販促他	21,790,000	3,790,000	18,000,000	
	広報事業②		1,680,000	-1,680,000	写真パネル関係 昨年度比50万円費用減	1,175,000	1,325,000	-1,325,000	
	小計	950,000	4,350,000	-3,400,000		1,175,000	3,975,000	-2,800,000	
	シューターズ(補助金)	8,801,000	11,002,000	-2,201,000	JSC補助事業	10,372,000		10,372,000	JSC補助事業
	シューターズ(広告掲載)	1,425,000		1,425,000		1,140,000	12,692,590	-1,180,590	JSC補助事業
	ドーピング検査	126,000	140,000	-14,000	JSC補助事業	174,000	193,410	-19,410	JSC補助事業
	小計	10,352,000	11,142,000	-790,000		11,686,000	12,886,000	-1,200,000	
	計(C)	11,302,000	15,492,000	-4,190,000		12,861,000	16,861,000	-4,000,000	
総務② 会費等	基本財産利息	2,000		2,000		2,000		2,000	
	受取入金	350,000		350,000	新規会員登録10020名(学生50-1歳150)	350,000		350,000	
	正会員費	4,700,000		4,700,000		4,700,000		4,700,000	
	普通会員年会費	32,154,000		32,154,000	競技会員目標95%+新規会員10%	32,154,000		32,154,000	
	小計	37,206,000	0	37,206,000		37,206,000	0	37,206,000	
総務③ 管理費 事務局①	職員給与		26,023,000	-26,023,000			26,023,000	-26,023,000	
	職員賞与		3,418,000	-3,418,000			3,418,000	-3,418,000	
	退職給付費用		1,500,000	-1,500,000			1,500,000	-1,500,000	
	福利厚生費(社会保険・ドック)		4,705,000	-4,705,000			4,705,000	-4,705,000	
	旅費交通費・通勤定期		1,632,000	-1,632,000			1,632,000	-1,632,000	
	小計	0	37,278,000	-37,278,000		0	37,278,000	-37,278,000	
	賃賃料:スクエア		6,540,000	-6,540,000	事務所・電気代・会議室料		6,540,000	-6,540,000	事務所・電気代・会議室料
	賃賃料:コピー機・PC・電話		2,160,000	-2,160,000			2,160,000	-2,160,000	
賃賃料:寺田倉庫		588,000	-588,000			588,000	-588,000		
その他		24,000	-24,000	伊勢原コンテナ設置		24,000	-24,000	伊勢原コンテナ設置	
	小計	0	9,312,000	-9,312,000		0	9,312,000	-9,312,000	
	計(E)	0	46,590,000	-46,590,000		0	46,590,000	-46,590,000	
総務④	通信運搬費		2,988,000	-2,988,000	郵便・電話・宅配便		2,129,000	-2,129,000	郵便・電話・宅配便
	減価償却費		600,000	-600,000	シミュレーター・保管庫・貯蔵庫他		600,000	-600,000	シミュレーター・保管庫・貯蔵庫他
	事務消耗品費		1,980,000	-1,980,000			1,980,000	-1,980,000	
	印刷製本費		156,000	-156,000			156,000	-156,000	
	計(F)	0	5,724,000	-5,724,000		0	4,865,000	-4,865,000	
総務⑤ その他	会議費		3,150,000	-3,150,000	理事会:8400,000円×6回 総会:8750,000円×1回		3,150,000	-3,150,000	理事会:8400,000円×6回 総会:8750,000円×1回
	監査報酬費		1,725,000	-1,725,000	公認会計士・税理士		1,725,000	-1,725,000	公認会計士・税理士
	支払手数料		732,000	-732,000	振込手数料		732,000	-732,000	振込手数料
	雑費・保険料		161,000	-161,000	スクエア保険料		161,000	-161,000	スクエア保険料
	雑費・燃料費		360,000	-360,000			360,000	-360,000	
	雑費・消耗品		240,000	-240,000			240,000	-240,000	
	雑費・その他		100,000	-100,000	予備費		0	0	
	弁護士顧問料		1,056,000	-1,056,000			0	0	
	総務事業費		200,000	-200,000	打合せ費用含む		1,320,000	-1,320,000	
	物品販売(ルールブック含む)	3,000,000	2,000,000	1,000,000	*利益100万円	3,000,000	2,000,000	1,000,000	*利益100万円
	部会助成金		1,500,000	-1,500,000			1,500,000	-1,500,000	
	会員費		1,483,000	-1,483,000			1,483,000	-1,483,000	
	交際費		2,000,000	-2,000,000	庶務費含む		500,000	-500,000	庶務費含む
	租税公課		2,540,000	-2,540,000			2,540,000	-2,540,000	
	支払利息		140,000	-140,000	借入金利息		140,000	-140,000	借入金利息
	JSCO交付金収入		800,000	-800,000	公認コーチ交付金:1名毎10,000円		800,000	-800,000	公認コーチ交付金:1名毎10,000円
	手数料収入		400,000	-400,000	推薦業務		400,000	-400,000	推薦業務
	NTC人件費	4,013,000		4,013,000	(スポ庁からの収入)NTC再委託費			0	(スポ庁からの収入)NTC再委託費
	給付金収入			0	(家賃・人件費)			0	(家賃・人件費)
	公益法人移行		1,650,000	-1,650,000	*新規			0	
終業規則改正		300,000	-300,000	*新規			0		
寄付金・分担金			0				0		
	計(G)	7,013,000	20,537,000	-13,524,000		3,000,000	17,251,000	-14,251,000	
強化	JOC交付金	4,000,000		4,000,000	前年度実績×50%想定	5,000,000		5,000,000	前年度実績×50%想定
	民間補助金	1,000,000		1,000,000	ミスノ財団のみ計上	1,000,000		1,000,000	ミスノ財団のみ計上
	強化事業費(その他)		2,000,000	-2,000,000			1,000,000	-1,000,000	
	JOC事業	62,452,000	71,813,000	-9,361,000	内々引に基づき算出	71,771,000	79,331,000	-7,560,000	申請額ベース
JSC事業:タレント発掘	28,080,000	35,000,000	-7,000,000	*昨年度並み	17,760,000	22,200,000	-4,440,000	申請額ベース	
	計(H)	95,462,000	108,813,000	-13,361,000		95,531,000	102,531,000	-7,000,000	
競技	共有経費(委員会費含む)			0			0		
	合計(A~H)	230,887,000	238,441,000	-7,554,000		231,888,000	231,388,000	500,000	